

2024年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 (まつもと園) 作成日時2024.9.11

代表	施設長	本部
風間	斎藤	田中

2024年度 改善への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・個別での運動プログラム、長期休み、お弁当購入プログラムの導入を検討する。 ・学校との、情報共有は、基本的に、保護者の方、を通して行う。 ・受容コミュニケーションに配慮した視覚的指示を活用できるように、スタッフ教育を強化していく
今年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応、合理的配慮、安全を念頭に置き、QRLの向上につながる支援をしていきます。 ・HUGシステム、面談、ラインワークス等を活用し、保護者の方々の安心につながるコミュニケーションを行います。 ・受容コミュニケーションに配慮した視覚的指示を活用できるように、スタッフ教育を強化します。

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点	分析検討してみた事業所の強み	分析検討してみた事業所の改善点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置数、専門性は適正 ・バリアフリー化の配慮が増えている 	・特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの専門性、知識、経験が上がってきている為、ニーズに寄り添い、成長につながる支援をお届けできる場面が多くなってきている ・PDCAサイクルの浸透ができていないため、スタッフが子どもの成長に前向きに取り組む(可能性にチャレンジしていく)姿勢がある ・昨年に引き続き、保護者の方々からの安心、信頼をいただいている ・個別支援の取り組みの有効性が子どものQOLの向上に表れてきている ・顧客満足度が高い ・ラインワークスにより、情報共有がスムーズにできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知関係が偏りがある(イベント参加していると思われる方と、されていない方で、評価が分かれている)ため、参加されていない方にも、情報をお届けできるようにする。 ・スタッフの顔、名前をお知らせする場所を考えていく。 ・その他、成人施設増設の要望あり。
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画している ・アンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげている ・職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保している 	・特になし		
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント、面談を適切に行い、子どもと、保護者のニーズや課題を客観的に分析されたうえで放課後等デイサービス計画が作成されている ・活動プログラムは本人に合わせた形で提供できている ・放課後児童クラブや、児童館との交流がない 	・特になし		
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所のサービス担当者、関係機関(学校、他事業所、との情報交換、相談が適切に出来ている ・日ごろから保護者の方と様子を伝えあい、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っている 	・特になし		
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから保護者の方と様子を伝えあい、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っている ・定期的に会報や、ホームページ等で情報を発信できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の周知が半分ぐらいできていない様子 ・スタッフの名前や、顔の周知ができていない 		
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの周知ができていない ・非常時に対する訓練ができていない 	・特になし	<p style="text-align: center;">事業所の改善への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有のタイミング、質、量に配慮していく。(スタッフ情報を含む) ・外部との交流、保護者同士の交流の場をイベントを通じて行う。 ・社会体験の場を増やし、社会との交流支援を多くしていく。 	
			<p style="text-align: center;">自己評価を行った事業所としての感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、アセスメントを各スタッフが積極的にを行い、個々のできることにアプローチを行い、方法を示唆しながら、チャレンジしています。保護者の方々の情報共有も、スムーズに出来ていて、支援をさせていただいています。お子様が楽しんで通っている様子を保護者の方からも直接お聞きでき、スタッフ一同やりがいを感じています。お子様の成長に携わることができ、感謝しています。ありがとうございます。 引き続き、安心、安全の上で、お子様の成長を促せるよう、チームで、個々に合わせた視点で、学齢期の限られた時間を有効に支援していきたいです。 	

来年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応、合理的配慮、安全を念頭に置き、QRLの向上につながる支援をしていきます。 ・HUGシステム、面談、ラインワークス等を活用し、保護者の方々にわかりやすい、つながるコミュニケーションを行います。 ・年齢に合わせて社会体験の場を増やし、社会との交流支援を増やします。
-----------------	--